

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)カナートモール伏見店建替計画	階数	地上2F
建設地	京都市伏見区深草出羽屋敷町23番6 他15筆	構造	S造
用途地域	第二種住居地域, 準防火地域	平均居住人員	1,500 人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,000 時間/年
建物用途	物販店,飲食店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年10月24日
敷地面積	13,009 m <sup>2</sup>	作成者	殿浦
建築面積	5,598 m <sup>2</sup>	確認日	2018年10月25日
延床面積	9,721 m <sup>2</sup>	確認者	村尾



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 施設老朽化による商業施設の建替計画。 耐震性等を現行法基準とし、地域の安全に寄与する建物とする。		その他 特になし
Q1 室内環境 喫煙室を設け、分煙対策としている。	Q2 サービス性能 階高を1.2階で5.2m、PH階で4mとし、ゆとりを持った設計としている。 空間形状の自由さが高い。	Q3 室外環境 (敷地内) 外構にゆとりがあり、空地率、見付面積比、隣棟間隔指標で好評価となっている。
LR1 エネルギー 設備システムの高効率化。 各種エネルギー消費量の妥当性が確認できる。	LR2 資源・マテリアル 節水コマ、節水型機器の採用。 部材の再利用可能性向上への取り組み。 一部エコマーク建材の採用。	LR3 敷地外環境 地球温暖化への配慮。 交通負荷抑制の取組みをしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される